

このまちの100年

「横須賀」

横須賀は東京湾の入口に位置する天然の良港で、古くより江戸・東京を守る役目を担ってきました。現在も自衛隊や米軍の基地がある要衝で、戦後はアメリカ文化の影響も強く受けながら発展しました。



大正13年頃

横須賀駅は海軍の人員や物資輸送のため、明治22年に開業した



大正期

旭町(現在の本町一丁目)付近の元町通り。関東大震災で被災後、拡幅された(現在の国道16号)



大正末期

横須賀駅は逸見波止場とあわせ、軍港の入口としての役割を果たしていた



昭和30年頃

逸見波止場は衛門も設けられた軍港の入口。昭和21年に公園となった(現在のヴェルニー公園)



昭和30年頃

昭和13年に竣工した海軍下士官兵集会所。戦後、米海軍のEMクラブとなり、現在跡地は横須賀芸術劇場



昭和30年頃

ドブ板通り一帯は、戦前は海軍、戦後は米軍の兵士向けの商店でにぎわった

上空からみた横須賀エリア



昭和21年



昭和46年



平成28年

📍：現在地
●：横須賀市役所 ●：記念艦三笠 ●：横須賀中央駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ